



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER,2-18-12 NISHIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO 169-0051,JAPAN

- 国際会長主題 「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
- アジア会長主題 「変化をもたらそう」
- 東日本区理事主題 「未来に向けて今すぐ行動しよう」
- あずさ部部長主題 「変わるに挑戦！」
- 東京西クラブ会長主題 「楽しく、元気で、そして仲間を迎えよう！」

2023年1月号

NO 556

いと高きところに栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。

ルカによる福音書2章14節

クラブの「適材適所」 吉田明弘

私たちのブリテンは、このところ6ページ建てです。それぞれのページに役割があります。

p1は、その月に一番訴えたい事項と前月の活動のスコアボード、p2は、当月例会案内と前月事務会報告、事務的な報告、p3は、前月例会報告とクラブ内外のニュース、p4はWHOウォーキングの前月報告と今月案内と担当主事執筆の「YMCA Today」、p5は、企画モノで現在は「ワイズ・インタビュー」です。

p6は、会員中心のページで、プライベートな随想なり、旅行記、趣味などを載せ、「編集後記」で締めます。他クラブ、部、区、国際の記事は適宜織り込みます。

最近、ブリテンはインターネットで発信していますから、多くの方に届いています。しかし読んでいただけているかは、判りません。役割を担っている方以外は、気になるクラブ、人、イベントの

動静や反応、興味あるコラムなどから、読み始められるのではないのでしょうか。そういう意味では、毎号掲載場所が決まっていると、すぐ目的地に行けます。

一方、編集面では、毎号各ページに原稿の過不足が出ます。その穴を埋める原稿が、そのページに異質なものを入ると落ち着かず、穴埋め記事だと見破られてしまいます。逆にそのページにふさわしい原稿が入ると、そのページが引き締まり、すでに入っている大きな原稿を引き立てます。それだけでなく、追加した小さな記事も光るのです。

まさに「適材適所」とは、このことだと思わされます。

「適材適所」は、クラブ内の役割分担でも言えますが、クラブの場合は、もっとゆるやかに、お互いに融通したり協力し合った「臨機応変」の方が、個人、クラブの成長に繋がると思います。



写真は、「センダン」の木の实

WHOウォーキング1月予定 暖かく「冬の星座」を見よう！

「野川下りシリーズ」は、昨年12月で終わりました。新年1月からは、毎回企画が変わりますのでお楽しみに。

1月28日(第4土曜日)は、寒さを避けて、世田谷区のプラネタリウムで、「冬の星座」を見ましょう。

残った時間で、中世に200年間この地を治めた吉良家の城跡・世田谷城址公園、豪徳寺、江戸時代の代官屋敷を初歩きします。

詳しい案内はp4にあります。

クラブ役員

- 会長 高嶋美知子
- 副会長 吉田明弘
- 書記 本川悦子
- 会計 篠原文恵
- 担当主事 横山弥利

12月の記録		ニコニコ	ー円
在籍者数 12人 (内功労会員) 1人	メネット 1人	クラブファンド	0円
出席者数 9人	コメント ー人	ファンド残高	114,715円
メーカーキャップ 1人	ビジター 2人	ホテル校ファンド	6,500円
出席率 90%	ゲスト 0人	ホテル校残高	34,150円
内Zoom参加 0人	出席者合計 12人	WHO参加者	38人

1 月例会のご案内

強調テーマ：EF・JEF(日本区ワイズ基金)

今月の卓話は、東京 YMCA 専門学校統括の小畑貴裕さんをお願いしました。東京 YMCA には学校法人の国際ホテル専門学校、社会体育・保育専門学校、医療福祉専門学校があり、10 か国からの留学生が学んでいます。ほとんど全員が日本での就職を望んでいます。就労ビザの制約もあります。それぞれの専門分野の知識、技能を身につけると共に、日本ならではの人の接し方も望まれます。学校としての課題でもあるそうです。

日時：1月19日(木) 18:30~20:30

会場：ウエルファーム杉並 03-5335-7318

会費：1,500 円

担当：A 班 (大野、村野、篠原)

HAPPY BIRTHDAY

7 日 石井 信雄 19 日 石井 元子

司会 篠原 文恵

開会点鐘
ワイズソング 静唱
聖句朗読・祈祷
ゲストご紹介
会食

会長 高嶋美知子
一 同
村野 絢子
本川 悦子

卓話 「外国人留学生にスキルをつける大切さ」
東京山手センター館長
国際ホテル学校校長 小畑貴裕さん

ハッピーバースデー

ワイズ報告

YMCA 報告

ニコニコ

閉会点鐘

各 担 当

横山 弥利

一 同

会長 高嶋美知子

—12月事務会報告—

日時：12月22日(木)

17:00~18:45

会場：ウエルファーム杉並 4F

出席者：神谷、河原崎、篠原、
本川、村野、吉田

<報告事項>

- ①12月の通常会計を承認した。
- ②クリスマス例会(於荻窪のビストロ天下井)について、感想を話し合った。
- ④東西日本区交流会(於神戸)参加予定者は次の通り。神谷、神谷 M、高嶋、村野
- ⑤東西日本区交流会

期日：2月4日(土)~5日(日)

会場：神戸 ANA クラウンプラザホテル神戸

会費：20,000 円

- ⑥ワイズメンズクラブ国際協会設立 100 周年 記念式典

期日：3月10日(金)~12日(日)

<協議事項>例会関係

- ①あずさ部長公式クラブ訪問の時期は3月以降となる。
- ②2月例会の卓話を浅羽俊一郎さん(埼玉クラブ会長)に『国際人道支援』についてお願いした。会場はウエルファーム杉

並。

- ③3月の東京世田谷クラブとの合同例会の会場はウエルファーム杉並でリアルにて行うことで、先方の了解を得る。卓話は日本のアメリカ文学者、翻訳者・荒このみさん「ベトナム戦争がアメリカを変えた」(仮題)を予定。

<協議事項>例会以外

- ①当クラブから推薦する順番となっている次々期あずさ部長候補については、協議が出来なかった。(書記：本川悦子)

—在京新年会報告—

1月7日(土)は早稲田教会で在京ワイズ合同新年会。古賀博牧師の説教、アジア太平洋エリア会長ほかご来賓の挨拶の後はウクライナ支援コンサートでした。

東京世田谷・小川圭一さんの案内でソ連侵攻時にウクライナで活躍していた「カノンデュオシスターズ」によるピアノ連弾で、幅広いジャンルの息の合った演奏は素晴らしく、映像によるウクライナの紹介では、避難している子どもたちのキャンプの様子が紹介されYMCAの活躍を見ました。

卓話者紹介

小畑 貴裕(おばた・たかひろ)さん

東京 YMCA 専門学校校長。

東京 YMCA 国際ホテル専門学校卒業後、渡米。ノースキャロライナ州にある北米 YMCA の研修施設「YMCA Blueridge Assembly」にてサマースタッフとして4年間従事しながら、現地大学を卒業。帰国後、東京 YMCA に入職し、以来30年に渡りホテル学校にて勤務。YMCAらしいホテル学校を創ることに、今なお試行錯誤中。関わったホテルエの卵達は8,000人を超える。

ウクライナカラーのドレスに着替えた後は、参加者の希望も交えた絶妙な司会でホルストの「木星」、「歓喜の歌」「ユーレイズミーアップ」「ひまわりのテーマ」「ラ・カンパネラ」も聴けて新春のお年玉となりました。

会計からのお願い

半年分の会費を例会に持参か、振込でお願いいたします。

振込先

みずほ銀行方南町支店

普通口座 8027928

東京西ワイズメンズクラブ



本川悦子さんのヴァイオリン演奏
を楽しんだクリスマス例会

—12月クリスマス例会報告—

12月例会は恒例のクリスマス祝会。会場は8月例会の会場と同じ荻窪駅に近いビストロ天下井。メンバー2人に身体上の不都合があり欠席したため若干寂しい祝会となってしまったが、ビジター2人を迎え、プログラムも通常ではなく、美味しい料理と音楽で楽しいひと時であった。

食事は普段はあまり口にしないフランス料理を楽しみ、音楽はメンバー本川悦子さんのヴァイオリンソロ演奏、曲目は、ハンガリー舞曲第5番、アイネクライネナハトムジーク第1楽章、G線上のアリアの3曲を楽しく聴いた。各曲の演奏に先立って曲目解説をビジター樋口順英さん（東京グリーン）がしてくださり演奏と相俟って一層会が盛り上がった。クリスマス祝会ということで讃美歌を「きよしこのよる」1曲だけ皆で声を合わせたが、これはあまり盛り上がり不足でちょっと残念であった。IBC台北セントラルクラブ、大邱セントラルクラブへのメンバーサイン入りのクリスマスカードは、事務会出席者のサインのみで発送した。

今回も藤井寛敏さん、樋口順英さんのお2人が出席してくださり会を盛り上げて下さり感謝である。（神谷幸男）

出席者：＜メンバー＞石井、神谷、河原崎、篠原、鳥越、本川、村野、横山、吉田、＜メネット＞神谷、＜ビジター＞藤井寛敏（東京江東）、樋口順英（東京グリーン）



乾杯シーンにゲストの樋口順英さんが映っていないのが残念！



山田利三郎ご夫妻宅に クリスマス出張コンサート



まだまだコロナが収まらない6月のある日、山田紀子さんから電話をいただきました。山田さん夫妻が居住しているホームでは、コロナ前にはよく音楽会があったが、今は全くされなくなりました。コロナは収束してないが、何とか演奏会を開けないでしょうか？ という相談でした。

楽団は夏に演奏会をするのは無理ですが、クリスマスならできますと返事をしました。12月21日（水）の昼下がり、山田利三郎さんと紀子さんがいらっしゃる

ホームで、クリスマスコンサートの演奏をさせていただきました。

クリスマスにちなんでソロを担当した2人は赤と緑の衣装で、合奏の人たちは白と黒の正装で演奏をしました。2人のクリスマスカラーがとてもよかったと喜んでいただきました。

山田さんご夫妻はじめ音楽に精通している方がおられる中緊張しましたが、終わってみたら演奏をした私たちも幸せな気持ちになりました。（本川悦子）



左上はお元気の山田利三郎・紀子ご夫妻。3人の後ろに飾ってあるタペストリーは紀子さんお手製のスウェーデン刺繍の大作。サンタさんの顔が利三郎さんにそっくり！



大正時代に敷設した渋谷向け水道管の隧

暖かく“冬の星座”を見よう WHOウォーク初歩き

WHO ウォーキングの新年初歩きは、寒さを避けてプラネタリウムで、星座を見て、中世に城下町であった、世田谷区世田谷あたりの由緒ある世田谷八幡神社、豪徳寺、松陰神社や吉良家の世田谷城址、代官屋敷を巡り足慣らしをしましょう。

期 日：1月28日（土曜日）

集合・出発：小田急線豪徳寺駅改札前 10:00

解散：東急田園都市線桜新町駅 15:00頃

携行品：名札、マスク、健康保険証、弁当、飲料

参加費：300円、交通費、施設利用代400円は各自負担。初参加の方は、名札代200円。

母なる多摩川に合流 WHO「野川下り」の最終回

12月17日は、「野川下り」の最終回でした。午後2時過ぎに多摩川兵庫島付近で多摩川との合流点に到着しました。参加は38人。今回の見どころは、①大蔵の永安寺、②岡本の古民家園、③古民家の裏に大正12年に、人口増のため、水不足になった当時の渋谷町（現在の渋谷区）の町民が、多摩川の水を砧浄水場から渋谷まで引いたという水道管を通す高さ2mほどの隧道。④世田谷区のトラスト制度で維持管理されている旧小坂別邸と崖線庭園。直登する組とそれを眺めながら自動車道を上り、堂々と車回しのある正門

から入る組に別れ、全員が崖上の別邸で落ち合い、しばし豊かな時間を共有しました。⑤旧三菱財閥を創業し

た岩崎家の廟所のある静嘉堂。岩崎彌之助、小弥太父子が蒐集した、国宝、重文を含む和漢典籍、東洋の古美術収蔵していた、文庫、美術館が2022年10月、東京丸の内の明治生命館美術館に移転したため、庭園とハケの森を散策する予定でしたが、なぜか門が閉ざされて入園できませんでした。⑥野川と多摩川との合流地点。これは兵庫島付近は、河川の修復工事のため、巨大な工事用機械が入っていて、自由には立ち入り出来ませんでした。判ったことは、合流が多摩川の広い河原で行なわれていること。それまで随分川幅も広がり水量が増えて逞しく見えた野川が、工事による水量調節のためか、母の前の子どものようなせせらぎとなって合流していたことでした。登山なら山頂に立てば、達成感があります。川の場合は目的地点に達しても、それはありません。特に野川の場合は、多摩川の南下によってハケに残された川です。それに寄り添って歩き、母なる川に後を託せたという安堵感でしょうか。立ち去りがたい想いがありました。⑦“ニコタマ”と呼ばれる二子玉川のショッピングセンター。これは二子玉川駅で解散後の自由散策となりました。（吉田明弘）

今回のワイズ関係の参加は、吉田（東京西）、中澤正子・藤江喜美子）、樋口順英（東京グリーン）、関喜一郎（元石巻広域）。11月も同じメンバーでした。

WHOウォーキングは、これま

で、「隅田川遡行」（2008.2～2009.3 約24km10回）、「玉川上水下り」（2009.10～2010.12 43km13回）、「神田川下り」（2015.2～2015.7 約25km7回）と実行しました。今回の「野川下り」は約20km、7回でした。

YMCA Today

■新年明けましておめでとうございます。ホテル学校では1年生が都内ホテルを中心に行っている6か月間のホテル実習も残すところあと1か月ほどとなっています。全国旅行支援の影響や外国人観光客の復活によりホテルには活気が戻っています。2年生の就職率は99%となり、今春からの忙しいホテルが活躍の場となります。1年生の就職活動も始まり、1月はホテル実習と就職セミナーの同時進行となります。良いスタートが切れるようしっかりとサポートしたいと思います。

■「第22回日本YMCA大会」が11月25日～27日に日本YMCA同盟東山荘、及びオンラインで開催。全国のYMCAから約200人が集い、東京YMCAからも9人が参加。ユースが中心となり準備・運営がなされ、「refocus the YMCA」をテーマに行われました。

■日本YMCA同盟表彰として、全国YMCAの永年継続会員やYMCA運動に貢献のあった会員241人が表彰を受けました。東京YMCAからは、青少年奉仕賞を郡山千里さんと山本和さんが受賞した他、50年継続会員賞2人、25年継続会員賞33人、25年勤続者賞1人が表彰を受け、記念品が贈られました。

■山手センター70周年を記念したリーダーOBOG会が11月27日に開催。現役リーダーも含め125人が集り、全体会の他、キャンプソングやクラフトを楽しむなど、再会と交流の機会となりました。当日はリーダー養成募金として約9万円が寄せられました。

担当主事・横山弥利

☆☆☆インタビュー☆☆☆113☆☆
長尾 昌男さんに聴く
 千葉ウエストクラブ
 * * *



—長尾さんのお生まれは。

「1947（昭和 22）年に神戸市垂水区で生まれ、社会人になるまで生家で育ちました。人には『生まれは、神戸の田舎で明石に近い』と言っています」

—当然、虎キチですか。

「いえ、私は巨人。川上監督率いる V9 時代のスタメン柴田、土井、王、長嶋、高田、末次、黒江、森、堀内、高橋。毎日が楽しみでした」

—ちょっと違いますね。私は 1 リグ時代からタイガースです。

—子どもの頃はどんな子でした。

「生後の風邪で明日の命は状態だったようですが、ご飯と味噌汁で大きくなり、小学 1 年生では背丈も勉強も 1 番だったそうです」
 —どんな遊びが盛んでした。

「小学校では校庭でのボール遊び。砂場での相撲でした。高校で昼休みのソフトボールで、外野フライを素手で捕ったので“グローブ”と呼ばれていました。百姓の子だから手が大きいのです」

—小学校の時、好きな学科は。

「好きな学科は、算数、社会、図工。苦手は、体育の鉄棒でした」

—中学、高校のクラブ活動は。

「中学、高校とも軟式野球部でした。高校には旧制中等学校時代に甲子園で中京 vs 明石の延長 25 回を戦った硬式野球部がありましたが、受験を考え断念しました」
 —将来については。

「中学時代は公立進学高校に行き、地元の公立大学に進み、一流企業に就職とっていました」

—就職は。

「野村証券、三和銀行、神戸銀行による創業 6 年目の東洋信託銀行に就職しました。入社以来、証券代行部とシステム部門で上場会社様の株主名簿管理人業務システムに携わっていました。終盤はシステム設計等でパソコン習得が出来、今でも活かしています」
 —信託銀行同士の競合は。

「同じ業務がありますので、銀行合併時の存続システムの決定や、民営化等ではシステムの優劣が受託に左右される場合もあります。幸い私の担当システムは、銀行合併では存続したので、肩身の狭い思いをせずすみしました」
 —大きな事件、変化は。

「1998（平成 10）年、現在の 7 桁の新郵便番号制度で管理データの新郵便番号への切替えが年末から 2 週間会社に泊まり込みでの対応でした。その後は、2015（平成 27）年のシステムのメインフレーム（大型汎用機）からオープン化システムへの全面移行がありました」

—千葉に来られたのは。

「昭和 49（1974）、東西システムの東京集中のためです。最初に横浜市に 6 年、船橋市に 1 年、そして現在の千葉市に住むようになって、はや 40 年です」

—千葉クラブにはどうして。

「東京明石会（同郷の会）でクラブの大場正幸さんに薦められ、1996（平成 8）年に YMCA とクラブの会員になりました。50 歳前でそろそろ会社以外に役に立てることはないかと思い、誘いに乗りました。同郷の会では、2022 年 10 月から会長になりました」

—クラブにすぐなじめましたか。

「入会直後から千葉 YMCA のプログラム、障がい者のキャンプ帯同支援、チャリティーランに関わっていたこと、山中湖のユースボランティア・リーダーズフォーラムに 3 度程見学に参加したことが良かったと思います。私は裏方が向いているとと思っていたので、3

年目から会計などをやって、それなりの居場所がありました。入会時のオリエンテーションとクラブ内の人間関係も大事ですね。2017-18 年度は関東東部部長を務めました。関東東部の部長はクラブ輪番制のため来年度は千葉ウエストからの 2 度目のお務めです」
 —長尾さんは、クラブや YMCA の地域奉仕活動に積極的ですね。

「クラブ内には後期高齢者が多いですので、まだアシストが出来るとの思いで出掛けています。身体を動かすのは好きです。『社会には奉仕第一』の精神も多少あります。退職後はワイズの例会等の行事予定がカレンダーに埋まり、それに向けて多少の頭脳を使うことと、出掛けようとするのが、心身の健康に良いと思います」

—メネット順子さんは、フラダンスをされるとか。

「フラよりもカラオケが好きなようです。フラはクラブの例会で 2 回程友人と踊りました。私もカラオケにはお供します」

—2 年前に千葉ウエストクラブを結成されましたね。

「船橋市には、1994 年から 2008 年まで船橋クラブがありました。船橋クラブは、日本キリスト教団船橋教会を拠点に活動していました。今でも教会の入り口には、『YMCA』の看板があります。ここを拠点に、新クラブを興そうと、横浜からクラブは千葉に、お宅は船橋市に移った高田一彦さんを中心に千葉ウエストクラブを結成しました。クラブ名には、船橋地域だけでなく、千葉県西側にも、という想いがあります」

—クラブでやりたいことは。

「千葉ウエストクラブは、地域奉仕の一つとして『夏見のおうち子ども食堂』を支援していますが次の地域奉仕事業を見つけないですか。そして千葉 YMCA の新しい事業に協力したいです」
 —座右の銘などお持ちですか。

「『継続は力なり』です」

—有難うございました。（吉田明弘）

気分転換は料理① 白菜とサツマイモ

村野絢子

12月中旬、私がカートにギッシリ食材を買い込み、「重くて持てないから白菜は買うのを止めた」と呟いた後のことである。

ビールを買いに出た夫が白菜を「重い、重い」と買って来た。何と4キロ近い白菜を2個合わせて8キロ。「どうして?」と聞くと、「値段変わらないから2個持ち帰ってよと言われた」という。確かにそういう売り方の八百屋である。その日からサラダ、ベーコン炒め、ピクルス、さっと茹でてほうれん草を芯にして巻き、小型ハンバーグを包んでスープで煮たり、鶏肉を塩こうじで焼き包んだものに、玉ねぎ・きのこを加えトマトソース煮込みにしたり

と、毎日少なくとも4枚、多い時は9枚使った。残りは4ツ割にしてゆずの皮を加えて塩漬けにした。もう1株は新聞紙でぐるぐる巻きにしてベランダに置いている。残るは700g。さて次は何を作ろうか楽しみである。

最近、美味しい焼き芋をあちこちで売っている。熱々を輪切りにして1切食べる。満足。でもそれをつぶし、バターを混ぜ、栗の甘露煮を(煮汁も適当に)加えればあつと言う間に「栗きんとん」の出来上がり。

生のサツマイモは大中小のが扱いやすく、良いのに出会えば買って置く。皮をむき適当にサイコロ(すぐ煮える)に切り、10分程水に浸けてあく抜きする。鍋に水切りした芋と水を入れ加熱する。竹串がすっと通ったら、湯を捨て、熱いうちにミルク・バター・砂糖(好みで刻んだクルミ等

を)加えて混ぜる。その①・型に入れ、表面に卵黄を大きじ1で薄めて刷毛で塗り、シナモンを振りかけ、オーブンで乾かす程度に焼く。その②・冷めたら布巾で茶巾絞りにし、シナモンを振りかける。どちらでも「スイートポテト」の出来上がり。

直ぐ食べたいときは、輪切りでも乱切りにでも切って油で揚げろ。砂糖に醤油を少ししたらし飴状に熱した鍋に揚げた芋を入れ絡ませれば「大学芋」の出来上がり。

編集者から

2022年1月に始まった村野絢子さんの「思い出を辿っては」12月に終わりました。新年1月から「気分転換は料理」が始まりました。毎回締め切り日をキッチリ守って原稿を送って下さり、その記憶力にはメンバーも驚くほどです。

コマ遊び

神谷幸男

正月3日の昼下がりに日向ぼつこの最中、子どもどものときの正月に「コマ遊び」で楽しんでいたことをフト思い出した。

ここで言う「コマ遊び」とは細引きを巻き付けて地面に投げつけて廻す直径・高さが8~10cmのコマを使った遊びのうち、いわゆる「天下取り」という遊び。

初めは順位決め。遊び仲間数人が一斉に同時にコマを廻して1番長く廻っていたものが「天下」、2番目が「大名」、次が「旗本」、次が「何番さん」でビリが「1番さん」(大名、旗本なる名称はうる覚え)に就任する。そして遊びは出世を競う。まず「1番さん」が廻す。次に「2番さん」が廻す。この時「2番さん」は廻っている「1番さん」のコマに自分のコマをぶつけて「1番さん」のコマを止めてしまうことも許される。こうして順位の低いものからコマを廻してその廻っている長さを競

う。上位の者が有利に決まっているが、途中他人のコマをぶつけて止めることができるから順位は乱れる。最後に廻す「天下」は圧倒的に有利。こうしてワンラウンド終わったところで新たな順位が決まって次のラウンドに入る。

こうして寒い中7~8人が遊びに飽きるまで、または暗くなる夕方まで夢中になって遊んでいた。

さて、自分はどうだったかといえば、疎開先のヨソものであったからか、ぶつけられる標的にされる場合が多かったためなかなか上位になれなかったと記憶している。

本来コマは周りと心棒が鉄で出来ているものであったが、手にしていたコマは戦時中の物資欠乏の故にすべて木製であったため安全性が高く怪我人が出ることもなく楽しく遊んでいた。

(神谷幸男)

編集後記

私事ですみません。昨年の11月の初めに、まず左足の足首を捻

挫し、その1週間後の日曜日の夕方に自転車で買い物から帰り、門の所で倒れ左側の胸を土止めブロックに強打し転倒しました。

翌日病院で検査を受けると肋骨を3本骨折、また左肺に水か血がたまっているとのことで他の病院の呼吸器科を紹介され、そこで精密検査を受けると骨折は4本とのこと、また、肺にたまっている血液の量は比較的少ないので入院せず自宅で静養との指示を受け、療養生活を送り約2か月がたちました。

かなり良くなってきましたが骨はまだついておらずコルセットをした生活を送っています。足のリハビリも並行して行い、だいぶ良くなり外に出る機会が多くなりましたが、まだ長くは外出ができずにいますが、2月の例会には出たいと思っています。

このような状況で1月のブリテン編集担当でしたが何もできず皆様にご迷惑をおかけしてしまい心苦しく思っています。また感謝いたします。(O.T)